

『業務生産性向上方法セミナー』受講者アンケート 集計結果

n=15

質 問		100点 とても ○	75点 ○	50点 まあ まあ	25点 ×	0点 とても ×	平均点
							82.3
1	講師の説明は分かりやすかったですか？	8	6	1	0	0	86.7
2	テキスト・配布資料は分かりやすかったですか？	5	8	2	0	0	80
3	日本企業の労働生産性が低い理由は理解できましたか？	5	7	3	0	0	78.3
4	人手不足解消事例の内容は理解できましたか？	9	4	2	0	0	86.7
5	3つの「見える化」手法は理解できましたか？	6	5	4	0	0	78.3
6	会議を半減させる方法は理解できましたか？	8	6	1	0	0	86.7
7	人手不足解決に至る全体プロセスは理解できましたか？	6	5	4	1	0	78.3
8	講師の話す内容に共感できましたか？	4	6	5	0	0	73.3
9	当セミナーでお教えした手法を実施してみたいですか？	10	4	1	0	0	90
10	講義の内容はご満足いただけましたか？	7	7	1	0	0	85

11 この講習会で、**ご不満だった点**がありましたら、お教え下さい。

- ①事例紹介が1例だけだったので、ムダ取りや業務量平準化が自社でもできそうなイメージが今一つ湧かなかった。
- ②第3章の「見える化」の進め方が具体的にイメージしにくかった。
- ③人員流出防止対策の説明にもっと時間を取ってほしかった(同意見:他1名)。
- ④質問の時間がもう少しほしかった(説明の途中で手を挙げて質問、チャットで質問等、同意見:他1名
- ⑤理解度確認テストが少しわかりづらかった。
- ⑥一日の予定表を配布してほしかった。
- ⑦特にありません(同意見:他8名)。

12 この講習会で、**良かった点**がありましたら、お教え下さい。

- ①なかなか聞くことのできない実例をベースとした内容で、非常に興味深く聴講させていただいた(同意見:他2名)。
- ②社内から人員捻出する方法の事例紹介があり、分かりやすくイメージしやすかった(同意見:他1名)。
- ③具体的な導入事例紹介があったので、組織マネジメントシステムについてよく理解できた。
- ④具体的な数字を挙げての説明が分かりやすかった。
- ⑤具体的な「見える化」手法や会議削減の考え方などが学べた(同意見:他3名)。
- ⑥会議の必要性についての考え方。
- ⑦平準化の効果、「現状－あるべき姿＝ムダ」の考え方や、改革と改善の違いは勉強になった。
- ⑧本セミナーでご紹介いただいた手法は、費用をかけずにできる点が特に魅力的に感じた。即効性があり、かつ効果が大きい手法として非常に期待を感じたので、もっと勉強して実践してみたい。
- ⑨費用をかけずに効果を上げる手法としては、かなり期待できる内容かと思う。
- ⑩講義内容のすべてに共感できた。今後どのようにTMS研ソリューションに共感させ、社内展開するかが課題だが、社内のキーマンを使ってできることから進めていきたい。
- ⑪内容がとても分かりやすく、納得できた。今回得た知識を具体的に実施していきたい。

- ⑫スタッフ間の業務量アンバランスを平準化する相談を部課長にしたが、課長にはご理解いただけただものの、部長には黙殺されたことがあった。今回のセミナー内容を参考に、部長を説得する方法を工夫してみたい。
- ⑬上手くいくかどうかは別として、配布された資料を参考にして自分でも実施できそうな点。
- ⑭テキスト・資料に書かれている内容の中で重要なところはどこかや、実施するうえでのコツのようなものを解説してもらえた。
- ⑮資料やメルマガに書かれていない部分を聞いた。

13 その他、**ご意見・ご感想**等ありましたらお願いします。

- ①他人は変わらないので自分を変えようと思い受講したが、セミナー受講によって上司を説得する手段が増えたと思う。
- ②今回学んだ内容を実践しないと意味がないので、今後どう実践するかに重きを置き、抵抗勢力とぶつかるのは承知の上で、組織がいい方向に行くよう努めたいと思います。
- ③自部署だけでは導入のハードルが高いと感じたので、同志を募りチャレンジしたいと思います。
- ④お金目的の残業やムダ作業が行われている実態もあるので、給与を減らすだけのムダ業務削減にならないようにする検討も必要と思う。
- ⑤今回のセミナーでご説明いただいたTMS研流マネジメントシステムと欧米流マネジメントシステムとの違いが気になる。おそらく欧米流とは異なる方法で生産性を高めているように予想するが、双方の良いところを合わせれば、もっと業務効率を向上させられるのでは?と思った。
- ⑥手法の具体的な進め方などを理解しきれていないため、セミナー内容の復習に加え、ご紹介いただいたHPの事例集や、動画chも学習しながら実践してみたい。
- ⑦4ヶ月という短い期間で指導した会社が、コンサル終了後も活動を継続できたのかが気になります。活動継続には専従の事務局を置く等の組織体制が必要だと思います。

→ 同社の指導は継続しています。事務局は専従です。弊社の指導は事務局を徹底的に鍛え私の分身になってもらい、指導終了後も活動が継続できるようにしています(角川)。
- ⑧今後、本日学んだことを実践してみようと思う。
- ⑨分かりやすい講義をありがとうございました。